

2022年8月8日

関係者各位

積水メディカル株式会社

創薬支援センター実験棟における放射性物質を含む廃水の漏えい発生について

弊社の創薬支援センターにおいて、管理区域外から微量の放射能が検出されましたので、下記のとおりお知らせいたします。本件については直ちに原子力規制庁への報告を行っており、これによる人体および環境への影響はないと判断しております。

近隣の皆様をはじめ関係者の皆様にはご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。原因について調査し、今後このようなことが生じないよう再発防止に努めてまいります。

記

1. 発生日時

2022年8月4日15時41分頃 覚知（施工業者からの報告時刻）

2. 発生場所

積水メディカル株式会社 創薬支援センター 第一実験棟
茨城県那珂郡東海村村松 2117

3. 概要

弊社では、築50年以上経つ第一実験棟の解体のため、放射性物質（以下「RI」）を除染後、管理区域から解除する解体計画を進めておりました。そのRI除染工程において、第一実験棟の床下を走るRI排水管（管理区域外）の破断箇所（2箇所）を確認しました。破断箇所付近の汚染検査の結果、土壌から微量の放射能が検出されましたが、破断箇所とその周辺、敷地内、敷地境界、地下水の汚染検査を実施致しました結果、環境への影響はないと判断しております。

なお、第一実験棟は2020年3月以降使用していない施設で、現在、排水管は通水していない状態でした。

4. 経緯

- ・8月3日から室内のRI除染を行っており、第一実験棟の床下を走るRI排水管（管理区域外）の調査を行っておりました。
- ・8月4日に施工業者がRI排水管の破断箇所（2箇所）を確認し、15時41分に弊社放射線取扱主任者が覚知しました。

5. 破断部の詳細

配管破断箇所：2箇所
材質：塩ビ管
内径：50Φ

6. 応急措置

破断箇所の養生（ビニールで覆う）
第一実験棟床下の立ち入り禁止措置

7. 汚染検査結果

①破断箇所表面汚染検査結果

配管	単位 Bq/cm ²		
	A	B	検出限界値*
内側	1.519	0.042	0.009
外側	0.537	0.194	0.009
養生	0.037	0.057	0.009

*バックグラウンド+（標準偏差×3）

②第一実験棟床下土壌表面汚染検査結果

破断箇所	単位 Bq/cm ²		
	A	B	検出限界値*
直下	0.022	0.349	0.009
直下から 50 c m	0.011 ~ 0.018	0.040 ~ 0.137	0.009
直下から 2m	0.011 ~ 0.021	0.022 ~ 0.125	0.009

*バックグラウンド+（標準偏差×3）

③屋外土壌表面汚染検査結果

建物周辺：0.010～0.015 Bq/cm²（検出限界値：0.009 Bq/cm²）

④破断箇所直下土壌中汚染検査結果

A：放射能検出されず

B：3H；土壌中濃度 60.00 Bq/g（下限濃度；1,000,000 Bq/g 以下）

14C；土壌中濃度 3.33 Bq/g（下限濃度；10,000 Bq/g 以下）

*下限濃度＝放射性同位元素と認められる濃度

「放射性同位元素等の規制に関する法律」にて規定

汚染検査結果まとめ：上記検査結果（①～③）より、破断箇所 A、B 共に検出限界値を超えているが、放射能管理レベルの法令値 4Bq/cm² より低い値となっており、更に土壌中濃度（④）も下限濃度以下でありました。

8. 人体及び環境への影響

①人体への影響：

定期的に行っている弊社従業員の内部被ばく評価において、過去から現在まで有意者はいないこと、また、漏えい箇所上部での空間線量率は自然界の放射能レベルと同程度であったことから、本事象による人体への影響はないと判断しております。

②環境への影響：

本事象覚知時の排気筒モニター値、事業所境界のモニタリング値に異常はございませんでした。また、上記「7. 汚染検査結果」に加え、事業所近辺の井戸水放射能測定も実施したところ異常はなかったことから、本事象による環境への影響はないと判断しております。

9. 汚染・負傷者の有無

負傷者：なし

被曝：なし

<本件問い合わせ先>

積水メディカル株式会社

経営企画部広報担当：sekisui-medical-hp@sekisui.com

防災対策本部広報班：029-282-0232